

阪神初のリーグ連覇

プロ野球阪神が3日、球団初のセ・リーグ連覇を達成した。広島市のマツダスタジアムで広島に敗れたが、2位巨人の敗戦で8度目の優勝が決まった。1リーグ時代を含めて12度目の制覇。2リーグ制となった1950年以降、宿敵の巨人を2位に抑えて頂点に立ったのは初めて。2023年にも優勝しており、ファン待望の黄金期を迎えた。

佐藤輝明内野手(27)がいずれもリーグトップの打率3割1分4厘、39本塁打、

105打点と三冠王へまい進。長打力が増した森下翔太外野手(26)、勝負強い大山悠輔内野手(31)らと打線をけん引した。高橋遥人投手(30)は開幕10連勝を含む16勝で最多勝を確定させ、藤川球児監督(46)は就任から2年続けて栄冠をもたらし、クライマックスシリーズは14日開始のファイナルステージから出場し、3年ぶり3度目の日本一を目指す。

神戸新聞

NEXT



詳しくはこちら



プロ野球セ・リーグで球団初の連覇を達成し、記者会見で笑顔を見せる阪神・藤川球児監督＝3日、広島県内